

# 報告書抄録

ふりがな	しもいしだなかおいせきだい 2 ちてん
書名	下石田中尾遺跡第 2 地点
副書名	宅地造成（下石田一丁目）に伴う埋蔵文化財調査報告
巻次	
シリーズ名	北九州市埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	第 616 集
編著者名	中村利至久
編集機関	（公財）北九州市芸術文化振興財団 埋蔵文化財調査室
所在地	〒 803-0816 北九州市小倉北区金田一丁目 1 番 3 号 TEL 093-582-0941
発行年月日	西暦 2023 年 3 月 31 日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 m <sup>2</sup>	調査原因
		市町村	遺跡番号					
しもいしだなかお 下石田中尾 いせきだい ちてん 遺跡第 2 地点	ふくおかけんきたきゆうしゅうし 福岡県北九州市  こくらみなみくしもいしだ 小倉南区下石田  ちようめ 一丁目	40100		33° 50' 20.46"	130° 53' 29.07"	20200520  ) 20200608	924	宅地造成（下石田一丁目）に伴う埋蔵文化財発掘調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
下石田中尾 遺跡第 2 地点	集落跡	弥生時代 古墳時代 古代 中世	溝状遺構 ピット 遺物包含層	弥生時代～古代の土器 古墳時代の須恵器 中世の輸入磁器、瓦質土器	

要約	<p>下石田中尾遺跡第 2 地点は、複雑に入り組んだ谷部の一角に位置している。調査の結果、遺物包含層と南側へ向かって低く傾斜する基盤層上面において溝状遺構 1 条、ピット 2 基、杭群を検出した。</p> <p>溝状遺構、ピットの時期については不明瞭であり、遺物包含層堆積以前としか分からない。杭群についてもどの層から打ち込まれたものか判然とせず、時期比定は困難である。</p> <p>遺物包含層の形成時期については、出土遺物から 13 世紀代を中心とする中世前期と考えられる。これは調査区全域に広がっているが、堆積状況から人為的に形成されたものである可能性が高い。本調査区一帯では、この頃に土地利用の画期があったものと考えられる。特筆すべき出土遺物としては、6 世紀後半頃に比定しうる焼き歪みのある須恵器があげられる。このことは、近隣に当該時期の須恵器窯が存在することを強く示唆している。</p>
----	---